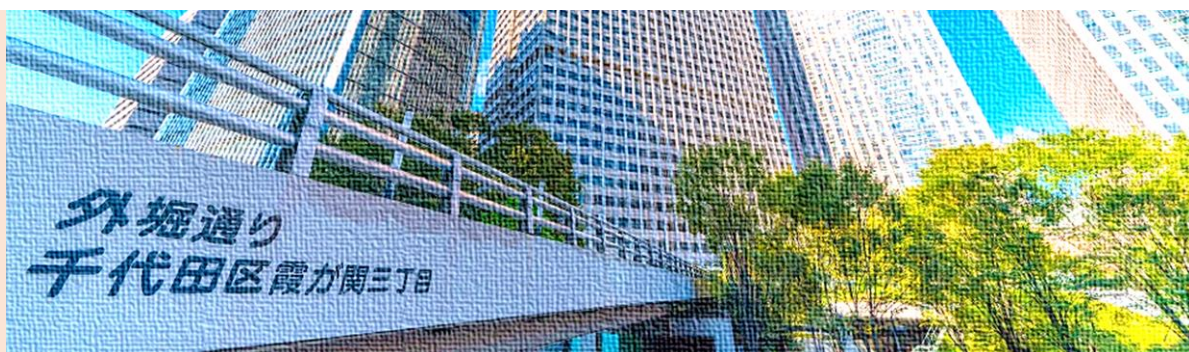




国家総合職(技術系)セミナー



開始までしばらくお待ちください。

1

Introduction ～参加にあたってのお願い～



第三者への共有・拡散は禁止させていただきます。

セミナーの様子などの写真や動画を撮影したり、それをInstagram、Twitter、Facebook等、SNS各種にアップしたりすることは肖像権侵害により法的責任を問われます。



終了後は、アンケートにご協力ください。

2

使える機能は3つ





手を挙げる
手を降ろす

1

手を挙げる/降ろす
担当者や講師の呼びかけの際に使用します。

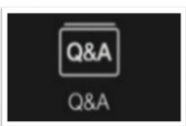


チャット

2

チャット
特定の人にメッセージを送れます。

※運営から指示があった場合のみ、クリック/タップをお願いします。



Q&A
Q&A

3

Q & A
質問の際に使用します。

※送信前に「匿名で送信」にチェック！

資格の学校TAC・Wセミナー公務員講座 3

CONTENTS

- 1 技術系公務員と民間企業技術職の違い
- 2 技術系公務員に求められるもの
- 3 技術行政の例
- 4 公務員の人事はフェア
- 5 技術系国家総合職合格のポイント



2024・2025・2026年合格目標

国家総合職

法律 / 経済 / 政治・国際 / 税関・行政 / 教養区分

TAC Wセミナー
養成校で
上位合格者を輩出!

2020年～2022年度
国家総合職試験 公務員講座生
最終合格者数 (累計実績)

533

名

153. 71. 171. 54. 60. 24.

**圧倒的な合格、
内定実績のカギがここにある!**

無料オンライン
カウンセリング
配点の高い
記述対策の充実
担任講師・内定者
アドバイザー制度
当体験入学
最大2週間体験OK!

入会費・教材費
¥10,000
プレゼント

TAC W セミナー

講師紹介 田村 義正

昭和54年 国家公務員試験(上級職甲種:機械)合格
採用活動 … 科学技術庁、通商産業省、運輸省、郵政省(どこも、面白そうだった。)

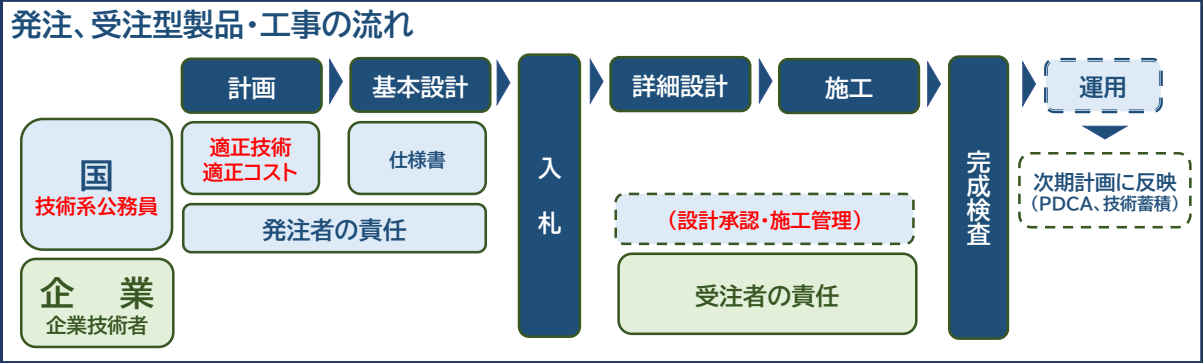
昭和55年 運輸省(現国土交通省)入省
国土交通省、科学技術庁、経済産業省で管理職として技術行政(総合政策局技術安全課長等)、人事院で技術系国家公務員採用業務(首席試験専門官)
(新技術事業団(科学技術振興機構)、日本貿易振興会、日本小型船舶検査機構、運輸施設整備事業団(鉄道建設・運輸施設整備機構)、海洋研究開発機構、海上技術安全研究所へ勤務)

技術行政 … どこも、面白い。
「自由闊達にして愉快なる理想工場」

1. 技術系公務員と企業技術職の違い

技術系公務員			民間企業技術職		
目的	公共の福祉(国民の利益)		目的	企業の利益	
機能	国民に代わって技術判断		機能	技術を使って製品を生産	
本省	技術政策	主に総合職 (大卒)	本社	技術企画	役員・部長
	事業計画			生産計画	
	安全環境基準の策定			研究開発	
	研究開発			特許戦略	
	特許審査			-	
地方局	設計・施工管理	主に一般職 (大卒等)	設計部門	製品の設計	技術職(大卒)
	基準適合性審査				
	(運用)	(工業高校卒)	工場	製造・施工	技能職(工業高校卒)

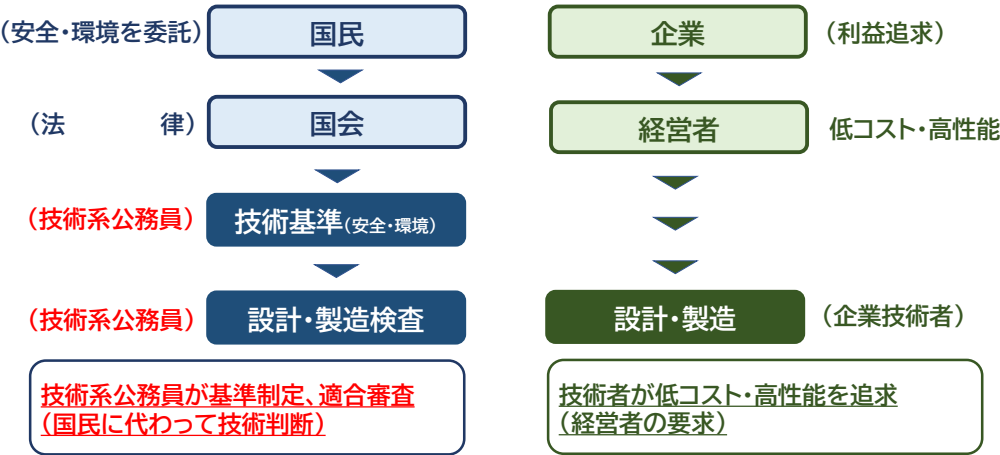
技術系公務員と企業技術職の関係①



※注 発電所(電力会社)、通信施設(NTT等)、新幹線(JR)、船舶(日本郵船等)も発注受注形態(発注側が計画)
 ①行政システム1円入札事件その後は高額契約(1990～2000)
 ②ごみ焼却炉談合事件(2010)

7

技術系公務員と企業技術職の関係②



不正事件 ①姉歯事件(2005)ーマンション等の耐震設計計算を不正(低コスト、強度50%) (建築基準法)
 ②VWの排気ガス不正問題(2015)ー世界的リコール(低燃費性能のため排ガス不正) (道路運送車両法)

公共物 発注の例 ― 技術系人材の必要性

I. ある離島航路の旅客船建造(仮定)

市役所総務課の事務員が、島民の要望を聞いて、入札仕様書作成(旅客定員100人、速度20ノット)――自動車のイメージ・競争入札で、X造船所が落札、建造、納品(旅客定員、速力―仕様書どおり)

II. 運航する海運会社を競争入札

⇒ 1社も入札せず(船は就航せず)

海運会社のコメント: 離島の港は浅くて、船底がついて、入港・着岸不可。プロが見れば問題点多(岸壁と甲板高さ、バリアフリーなど)

(「仕様書の作成=船を設計する技術力」ということが分かっていない)

離島航路の住民協議会⇒運賃安、速い、乗客数多、欠航少⇒要望通りの船は建造不可能

技術系公務員の業務 ― 適切技術、適正コストの基本設計、工事確認

デジタル分野はこれから⇒デジタル人材の機能させる仕組みがなかった？

9

2. 技術系公務員に求められるもの

- **Everything**・・・社会全体を見る力
(一般教養試験)＋法律、経済、国際関係
新聞程度の知識は必要
- **Something**・・・専門知識(技術)
(専門試験)――工学、理学、薬学、農学

両方バランス取れて、技術行政ができる。(単なる技術者ではない。)

10

国民に替わって、技術的判断を行う専門家

- **技術政策** – 地球温暖化、環境、安全、バイオテクノロジー、AI、5G通信、ドローンなどの研究開発、普及政策
- **技術判断** (高度な現代技術社会) – 国民に代わる専門家集団
 - ⇒ 船舶・航空機・自動車、原子炉、薬、食料、化学薬品などの安全基準・環境基準の策定、安全性の判断、環境基準適合判断
 - ⇒ 特許の新規性審査
- **公共事業** (公共物・公事業の建設・運営)
 - 基本計画、設計、建設、完成検査、定期整備 (**発注の技術力**)
 - (**PDCAサイクルの蓄積**)
 - 技術進歩(政策)を取り入れる – 適正技術、適正コスト

11

「科捜研の女」について (榊マリコ＝技術系公務員)



現代の犯罪捜査 「**刑事の勘**」⇒「**科学捜査**」

科学技術(Something) + 法令・社会知識(Everything)

デジタル技術

歩行映像⇒3D映像デジタル解析で、犯人を特定

げそこん⇒人の軌跡から、犯人の靴を特定

化学分析、遺伝子解析

微量な繊維の染料から、犯人の服を特定

5G通信・スパコン普及の時代になると、

駅の改札や道路(信号機)映像から犯人の逃亡は、瞬時に判明 ——

21世紀は、科学が犯罪捜査・防止の中心？

12

3. 技術行政の例

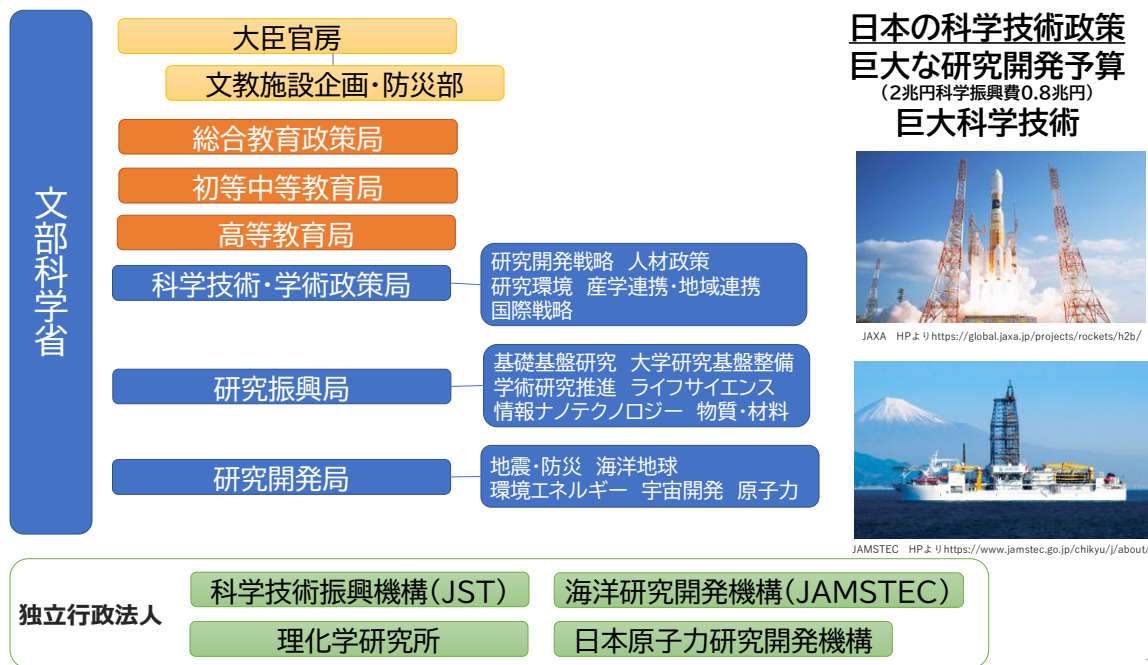
- 21世紀の科学技術政策、未来を生む研究(宇宙・スパコン)・・・文部科学省
- 産業技術、エネルギー・地球温暖化対策・普及・・・経済産業省(資源エネルギー庁)
- 新しい産業技術の知的所有権の審査・・・特許庁
- 地球温暖化対策の目標設定、技術開発・・・環境省
- 交通の安全環境政策(技術基準の策定、適合性判断)・・・国土交通省
- 国民の健康を守る医療・薬事・・・厚生労働省
- 21世紀の食料生産(研究開発(バイオテクノロジー、ドローン)・普及)・・・農林水産省
- 21世紀の通信技術(5G・デジタル通信など)・・・総務省

公共事業(国土全体を見たインフラ整備(道路、河川、港湾、空港、都市公園、漁港、農地整備、水道)・・・国土交通省、農水省、厚生労働省等

防衛装備品(自衛隊の必要な機材、施設の建造・整備)・・・高度な技術

最新の技術を取り入れた社会づくり(政策)が、技術系国家公務員の魅力

13



14

大きく伸びた科学技術行政

世の中の期待—科学技術立国

科学技術予算倍増 構想

科学技術関係予算

1985年 1.5兆円

2018年 3.8兆円(現在の文部科学省予算2兆円、科学技術関係費0.8兆円)

宇宙ステーション、世界1のスパコン、IPS細胞研究所、深海掘削船・・・

(欧米以上の研究開発ができるようになった。)

ノーベル賞受賞者倍増 構想(理系)

昭和24～63年 — 8人

平成30年間 — 26人

15

経済産業省

大臣官房

経済産業政策局

通商政策局

貿易・経済協力局

産業技術環境局

研究開発、国際基準

製造産業局

自動車、航空機、金属

商務情報政策局

情報産業、製品安全

資源エネルギー庁

省・新エネ、石油、電力

中小企業庁

新事業促進、技術革新

特許庁

産業政策 —技術立国(例)

自動運転の普及課題

- 環境整備（法整備、インフラ）
- 技術開発
- 社会受容性の向上

2050年カーボンニュートラル

- 再生可能エネルギー
- 水素/アンモニア/カーボンニュートラル
- 原子力

16

カーボンフリー燃料ー高度な技術政策ー高度な技術系公務員が必要

・水素燃料の実用化

低コスト・大量生産

(大規模太陽光発電、風力(洋上、チリ南端)、豪州の褐炭から製造(熱分解、CO₂のCCS(地中埋込))

輸送ーマイナス256℃の極低温で液化又は有機ハイドライド(国土交通省)

燃料電池・エンジン・発電所ーコスト、効率

・アンモニア燃料の実用化

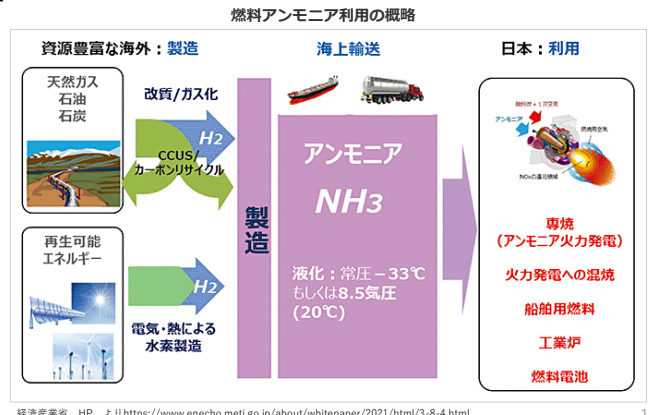
ーCO₂排出無

低コスト・大量生産

ー水素の生産場所で製造

エンジン、発電所

ーNO_x排出、
N₂O(CO₂の300倍の温暖化)排出



17

特許庁

総務部

審査業務部

審査第1～4部

審判部

特許の裁判(第1審)

特許ー産業政策(民間企業の技術開発促進)

独占権ー技術開発を促進

実施権ー技術の普及促進

注、中国(共産主義)ー特許制度無し(新技術は生まれなかった) 日本の特許制度を研究・輸入

世界最高水準の技術の特許審査

青色発光ダイオードの発明-天野・中村・赤崎博士

(ノーベル物理学賞)(ブルーレイディスク、白色照明、
光通信能力倍増)

オポジーボの発明--本庶佑京大名誉教授

(ノーベル医学生理学賞)

がん免疫治療薬

リチウムイオン2次電池の発明

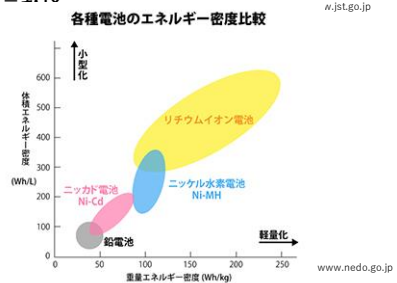
--吉野彰(旭化成)

ノーベル化学賞

スマホ、電気自動車の電池

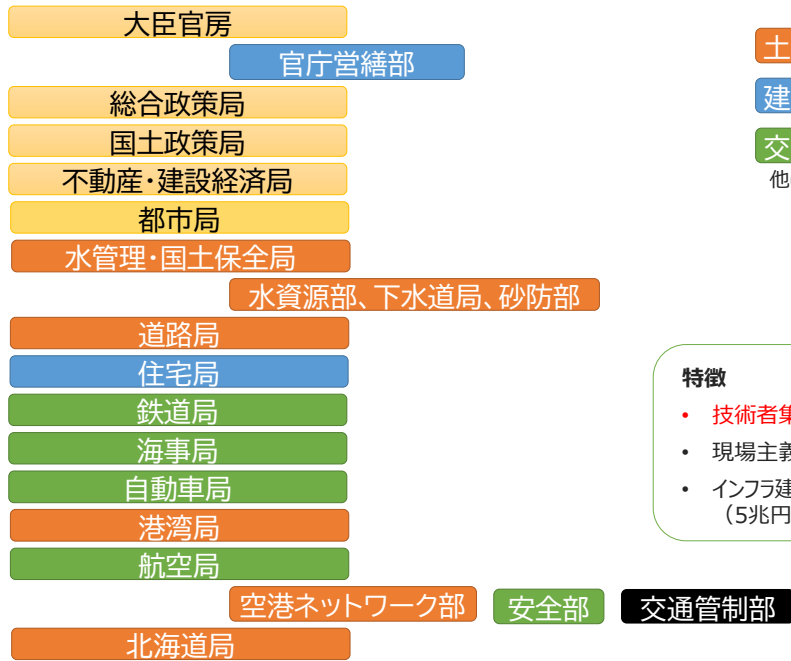


www.jst.go.jp



18

国土交通省



土木系

建築系

交通技術系(機械・造船・航空)

他にも砂防・造園・地学など

特徴

- ・ 技術者集団
- ・ 現場主義
- ・ インフラ建設等の巨大予算(5兆円)

19

日本のインフラ政策－河川管理

日本は災害列島



令和元年東日本台風による
長野市穂保地先の堤防決壊、浸水被害状況

河川の管理 流域治水プロジェクト(全国111一級水系等)

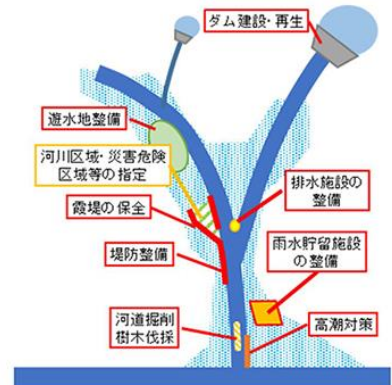
【イメージ】〇〇川水系流域治水プロジェクト

- ・ 水害リスク空白域の解消
- ・ マイ・タイムラインの作成・推進

【凡例】

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 被害対象を減少するための対策
- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

★ ……浸水範囲(昭和XX年洪水)



国土交通省 HPより https://www.mlit.go.jp/river/kasen/ryuiki_pro/index.html

20

4. 公務員の人事はフェア(定員と人事)

例) 定員30名の組織

●	●	●	退職	○	○	○	昇格
○	○	○	↗	△	△	△	
△	△	△	↗	○	○	○	
○	○	○	↗	○	○	○	
○	○	○	↗	○	○	○	
○	○	○	↗	○	○	○	
○	○	○	↗	○	○	○	
○	○	○	↗	○	○	○	
○	○	○	↗	○	○	○	
○	○	○		●	●	●	← 新規採用

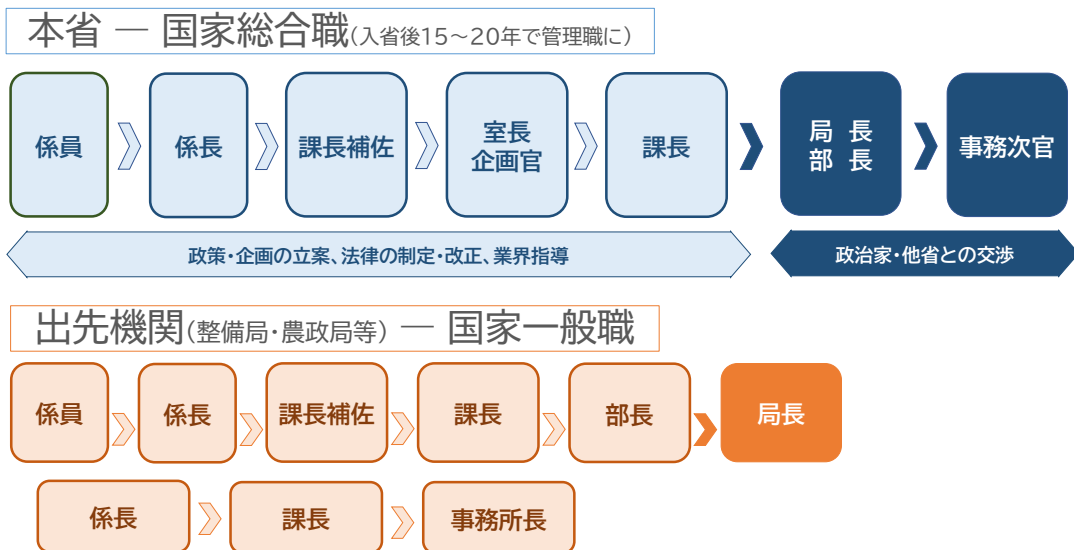
21

公務員の特徴 — フェア

- ・ 2年位で人事異動がある。——上から順次、昇進(昇進は公平)
- ・ 上司と人間関係が悪くても、1年位でどちらかが移動する。
(ストレスがない。)
- ・ 人事担当者も、2年位でかわる。評価が固定しない。
(毎年、チャンスあり。)
- ・ 人事評価制度の導入。——公平な評価システム
(良い評価、悪い評価も、理由・説明が必要—2次評価)

22

本省と出先機関の組織構造



23

国家公務員の給料

- 給料は、人事院の**民間企業調査の平均**(人事院勧告)
- どの省庁に入っても、給料は同じ。(自分にあった仕事を選べばよい。)
- 平均的な昇給が中高年まで、続く。(中高年は生活が安定)
- 日本の税制: 高年収(1000万円以上)は、累進税率で手取りは増えにくい。(民間企業で若くて高年収でも、手取りは増えない)

実感: 学生時代の同級生と比べて、トータルではあまり変わらない。

24

近年の傾向

- 早期退職⇒定年退職(60才⇒65才(定年延長))
⇒ **どの官庁に入っても、生涯処遇は同じ(経済官庁?)**
- 人事評価制度の導入
⇒ **よりフェアは評価の仕組みになった。**

-
- 新設官庁(消費者庁、デジタル庁、こども家庭庁、感染症危機管理庁(仮称))
 - 内閣人事局の幹部人事(適材性)
 - 政治判断の必要性の増加(国際、国内)(大臣が判断する必要性)

(政治家も勉強して、実力をつけた。)

(官僚も、専門性、政策能力が強く要求される時代となった)

25

技術関係の業務は増えた

1. 現在の技術の発展・変化は、目覚ましい。

— 産業界、学術界

(AI、デジタル、ドローン、自動運転、精密化学、バイオテクノロジー、遺伝子工学、新材料、リチウムイオン電池、カーボンフリー燃料、宇宙、海洋…)

2. 技術を用いて社会を発展させるには、技術系行政官が必要

— 社会システムの構築

(技術の評価、政策・制度造り、法律作成、予算・税制措置、審議会…)

(少子高齢化社会、コロナ、中国産業の躍進、遺伝子工学技術によるコロナワクチン、PCR、デジタル等、技術力の重要性が明確化)

26

- **官公庁の役割** — **昭和の時代の都市伝説に惑わされないこと**
(自分のやりたいことを)
- 昭和の時代 — 資源(予算)の分配
- 現在(令和) — **政策競争の時代**
(最新技術の政策(社会の発展、国際競争力))
(各省庁が新政策を競う時代となった。)
— 技術・事務を分けない官庁も増えた

未来を創るのは、技術がわかる公務員

典型的な例: 消費者庁、デジタル庁、感染症危機管理庁(仮称)...

27

5. 技術系国家総合職試験 合格のポイント

昭和の時代

試験問題などは、公表されておらず、
理系の多くの人々は、試験勉強しないで、受けていた。
(教養等大学入試時の勉強 + **受験対策をした分の差で合格?**)

現代

試験問題・配点も公表され、**受験対策が可能**
受験対策をすれば、誰でも合格可能になった。
私学、地方大学の合格者が大幅に増えた。

2022年春合格者1834人

東大217人、京大130人、北海道大111人、早稲田大84人、東北大75人、慶応大71人、立命館大63人、岡山大61人、中央大49人、千葉大47人、
上位私学: 明治大34人、東京理科大26人、法政大24人同志社大20人、日本大18人)

⇒ 大学入試時の偏差値ではない。(国立1286人、私学468人)(都市伝説?)

28

2023年度 総合職試験の結果

国家公務員採用総合職試験（大卒程度試験）実施状況
2023年度

試験の区分	申込者数	第1次試験		第2次試験 受験者数	最終合格者数
		受験者数	合格者数		
政治・国際	1,308 (549)	993 (420)	415 (157)	320 (125)	211 (89)
法律	7,834 (3,649)	6,363 (3,011)	825 (324)	505 (181)	352 (136)
経済	1,071 (301)	813 (234)	290 (71)	200 (50)	142 (33)
人間科学	350 (236)	258 (176)	64 (40)	53 (34)	33 (19)
デジタル	153 (32)	111 (24)	98 (22)	78 (16)	49 (10)
工学	898 (161)	640 (120)	561 (102)	391 (78)	294 (56)
数理学・物理・地球科学	169 (38)	124 (26)	40 (8)	34 (8)	21 (6)
化学・生物・薬学	311 (137)	234 (102)	61 (19)	57 (18)	32 (9)
農業科学・水産	437 (191)	368 (167)	224 (99)	165 (75)	116 (52)
農業農村工学	146 (45)	126 (39)	84 (26)	63 (17)	55 (16)
森林・自然環境	209 (73)	175 (60)	117 (42)	92 (30)	55 (23)
計	12,886 (5,412)	10,205 (4,379)	2,779 (910)	1,958 (632)	1,360 (449)
教養					
合 計	12,886 (5,412)	10,205 (4,379)	2,779 (910)	1,958 (632)	1,360 (449)

(注1) ()内の数字は女性を内数で示す。
(注2) 受験者数は、第1次試験又は第2次試験のそれぞれ最後の試験科目を受験した人数である。

国家公務員採用総合職試験（院卒者試験）実施状況
2023年度

試験の区分	申込者数	第1次試験		第2次試験 受験者数	最終合格者数
		受験者数	合格者数		
行政	314 (115)	240 (95)	218 (84)	185 (71)	164 (64)
人間科学	135 (88)	115 (79)	93 (61)	85 (57)	49 (34)
デジタル	62 (9)	46 (7)	45 (6)	31 (3)	22 (3)
工学	322 (64)	239 (47)	221 (43)	183 (36)	158 (27)
数理学・物理・地球科学	135 (21)	98 (15)	81 (10)	66 (7)	39 (2)
化学・生物・薬学	230 (88)	153 (58)	139 (50)	118 (43)	84 (30)
農業科学・水産	187 (81)	151 (69)	141 (65)	114 (53)	83 (41)
農業農村工学	20 (8)	18 (8)	15 (8)	12 (7)	11 (7)
森林・自然環境	81 (31)	69 (29)	64 (27)	59 (26)	57 (26)
合 計	1,486 (505)	1,129 (407)	1,017 (354)	853 (303)	667 (234)

(注1) ()内の数字は女性を内数で示す。
(注2) 受験者数は、第1次試験又は第2次試験のそれぞれ最後の試験科目を受験した人数である。

令和5年4月1日における国家公務員採用総合職試験（大卒程度試験）の区分試験別・府省等別採用状況

区分試験 府省等	政治・ 国際	法律	経済	人間科学	デジタル	工学	数理学・ 物理・ 地球科学	化学・ 生物・ 薬学	農業科 学・ 水産	農業農 村工 学	森林・ 自然環境	計	教養	合計
会 計 検 査 院	2 (1)	1 (1)				1						4 (2)		4 (2)
人 事 院		2 (1)	2		1 (1)							5 (2)		5 (2)
内 閣 府	3 (1)	4 (2)	1	1 (1)								9 (4)	2 (1)	11 (5)
デ ジ タ ル 庁	1				1							2	1	3
公正取引委員会		2 (1)	3 (1)									5 (2)		5 (2)
警 察 庁	1	5 (1)	3 (2)			1						10 (3)	12 (3)	22 (6)
金 融 庁			5 (1)									5 (1)	3 (1)	8 (2)
消 費 者 庁		2 (1)										2 (1)		2 (1)
総 務 省	7 (3)	11 (6)	3 (1)		3 (2)	1 (1)	1					26 (13)	26 (4)	52 (17)
消 防 庁									1			1		1
法 務 省	1 (1)	7 (2)	1 (1)	8 (5)								17 (9)		17 (9)
出入国在留管理庁	4 (1)	3										7 (1)		7 (1)
公安調査庁		3 (1)		1 (1)								4 (2)		4 (2)
外 務 省	14 (8)											14 (8)	16 (6)	30 (14)
財 務 省	8 (3)	8 (3)	4 (3)					1				21 (9)	16 (4)	37 (13)
国 税 庁	2 (2)	1	3					1 (1)				7 (3)		7 (3)
文 部 科 学 省		9 (6)	1			2	1 (1)					13 (7)	5 (1)	18 (8)
厚生労働省	5 (4)	10 (4)	7 (6)	1		1	1	2 (2)	2 (2)			29 (18)	9 (4)	38 (22)
農 林 水 産 省	3 (2)	9 (3)	3 (1)		2	1			30 (16)	14 (5)	8 (4)	70 (31)	10 (4)	80 (35)
経 済 産 業 省	7 (2)	3	4			4	4 (2)	1 (1)				23 (5)	18 (6)	41 (11)
特 許 庁					2 (2)	11 (1)		3 (2)	3 (2)			19 (7)		19 (7)
国 土 交 通 省	2 (1)	12 (6)	4 (2)		1	35 (7)			2 (2)	1	3 (1)	60 (19)	9 (2)	69 (21)
気 象 庁						1						1		1
海 上 保 安 庁														
環 境 省		7 (4)				1		1	3 (2)		3	15 (6)	2	17 (6)
原子力規制委員会	2											2		2
(独)造幣局						1						1		1
(独)国立印刷局					1	1						2		2
防 衛 省	8 (4)	1 (1)	1		1 (1)							11 (6)	4 (1)	15 (7)
防衛装備庁						2		1				3		3
衆議院法制局														
参議院法制局														
計	70 (33)	100 (43)	45 (18)	11 (7)	12 (6)	63 (9)	7 (3)	10 (6)	41 (24)	15 (5)	14 (5)	388 (188)	133 (37)	521 (188)

(注1) 本表は、2022年度総合職試験の合格者で最終合格者発表日以後令和5年4月1日までの間に採用された者の数です(過年度試験の合格者と同期間内に採用され
た者を含む)。
(注2) ()内は、女性を内数で示します。

令和5年4月1日における国家公務員採用総合職試験(院卒者試験)の区分試験別・府省等別採用状況 (単位:人)

府省等	区分試験	行政	人間科学	デジタル	工学	数理学 ・物理・ 地球科学	化学・ 生物・ 農学	農業科学・ 水産	農業農村 工学	森林・ 自然環境	計	法務	合計
会計検査院		1									1		1
人事院			1 (1)								1 (1)		1 (1)
内閣府		4 (4)	1								5 (4)		5 (4)
デジタル庁		2 (1)		1 (1)							3 (2)		3 (2)
公正取引委員会		3 (2)									3 (2)	1 (1)	4 (3)
警察庁		2 (1)	1 (1)		1					1	5 (2)		5 (2)
金融庁		2			2 (1)						4 (1)		4 (1)
消費者庁										1 (1)	1 (1)		1 (1)
総務省		13 (6)		1	3	1					18 (6)		18 (6)
消防庁										1 (1)	1 (1)		1 (1)
法務省		4 (2)	7 (3)								11 (5)		11 (5)
出入国在留管理庁		1 (1)									1 (1)		1 (1)
公安調査庁					1						1		1
外務省		3 (1)						1 (1)			4 (2)		4 (2)
財務省		3 (1)			2						5 (1)		5 (1)
国税庁		1					1 (1)	1		1	4 (1)		4 (1)
文部科学省		3 (1)	4 (1)		2	2	4 (2)			2 (2)	17 (6)		17 (6)
厚生労働省		5 (1)	3 (1)	1		5	9 (3)				23 (5)		23 (5)
農林水産省		1		1	1		1	16 (7)	4 (1)	8 (2)	32 (10)		32 (10)
経済産業省		4		3 (1)	8 (1)		3 (1)				18 (3)		18 (3)
特許庁					14 (6)	2	7 (3)				23 (9)		23 (9)
国土交通省		7 (2)	1 (1)	1	37 (5)	2	1	1 (1)	1 (1)	9 (4)	60 (14)		60 (14)
気象庁					2	6 (2)					8 (2)		8 (2)
海上保安庁					2	1 (1)		2 (1)			5 (2)		5 (2)
環境省		3 (1)					3 (2)	2		5 (3)	13 (6)		13 (6)
原子力規制委員会		1 (1)					2 (1)				3 (2)		3 (2)
(独)道庁													
(独)国立印刷局				1							1		1
防衛省		1		1 (1)	10 (3)						12 (4)		12 (4)
防衛装備庁					8	1	2				11		11
衆議院法制局													
参議院法制局													
計		64 (25)	18 (8)	10 (3)	93 (16)	20 (3)	33 (13)	23 (10)	5 (2)	28 (13)	294 (93)	1 (1)	295 (94)

(注) 1 本表は、2022年度総合職試験の合格者で最終合格者発表日以後令和5年4月1日までの間に採用された者の数です(過年度試験の合格者で同期間内に採用された者を含む。)
2 ()内は、女性を内数で示します。

6. 試験のスケジュール

【変更のポイント】

- ①2023年度から秋の教養区分の受験資格が19歳に。大学2年から受験が可能になりました。
- ②2024年の春試験は、3/17（日）実施と、例年より、かなり早まります。

大学2年生					大学3年生								大学4年生									
月	9	10	11	12		9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	～	4	
国家総合職	秋試験					秋試験						春試験				夏の官庁訪問				内定式		入省

7. 春試験／試験制度

大卒程度試験（工学）

1 次 試 験

基礎能力試験（択一式）【配点比率未定】

※○は出題予定数

2時間20分／30題解答

<必須解答>

知能分野(文章理解⑩、数的処理④)②

知識分野(自然科学・人文科学・社会科学に関する時事、情報)⑥

※知識分野は、単に知識を問うような出題を避けて時事問題を中心とし、普段から社会情勢等に関心を持っていれば対応できるような内容

専門試験（択一式）【配点比率未定】

3時間30分／155題／40問題解答

必須問題

工学に関する基礎[数学及び物理の基礎的な知識に基づく工学的な手法の応用能力を問うもの等]の計20題

選択問題

<次の27科目(各5題)から4科目、5科目又は6科目を選択し、その20～30題のうちから任意の計20題解答>

1.技術論[技術の歴史、技術と社会との関連等]／2.基礎化学／3.工学基礎実験／4.情報基礎、5.電磁気学／6.電気工学／7.材料力学[機械系]／8.流体力学[機械系]／9.構造力学(土木)・土木材料・土木施工／10.土質力学・水理学／11.環境工学(土木)・衛生工学／12.構造工学(建築)／13.建築構造・建築材料・建築施工／14.計測工学・制御工学／15.電子工学／16.通信工学／17.機械工学・18.熱力学・熱機関[機械系]／19.土木計画／20.建築計画・建築法規・建築設備／21.建築史・都市計画／22.材料工学(材料科学)[材料物理、材料化学]／23.材料工学(金属材料・無機材料)／24.原子力工学(原子核・放射線)／25.原子力工学(原子炉・核燃料サイクル)／26.船舶海洋工学(流体)[船体復原性、船体抵抗・推進、船体運動]／27.船舶海洋工学(構造)[船体強度・振動、船舶設計・積装]

(注)8(流体力学[機械系])と10(土質力学・水理学)の同時選択不可。

7(材料力学[機械系])と9(構造力学(土木)・土木材料・土木施工)と12(構造工学(建築))の3科目のうち、2科目又は3科目の同時選択不可

2 次 試 験

専門試験(記述式)【配点未定】

3時間30分／選択問題1題又は2題

次の27題から出題

解答題数

ア.1(建築設計)又は2(都市設計)を選択する場合はその1科目(1題)のみを選択解答

イ.1以外の場合は、2科目から各1題、計2題を選択解答

(注)2題以上出題される科目にあっては、そのうち1題のみ選択可。

1.建築設計①／2.都市計画①／3.計測工学①／4.制御工学②／5.電磁気学・電気回路①／7.電力工学①／8.電子工学①／9.通信工学①／10.信頼性工学①／11.材料力学[機械系]①／12.機械力学①／13.流体力学[機械系]①、14.熱力学・熱機関[機械系]①／15.航空工学①／16.構造力学(土木)①／17.土質力学①／18.水理学①／19.土木計画③／20.環境工学(土木)・衛生工学②／21.材料工学(材料科学)[材料物理、材料化学]①～②／22.材料工学(金属材料)①～②／23.材料工学(無機材料)①／24.原子力工学(原子核・放射線)①／25.原子力工学(原子炉・核燃料サイクル)①～②／26.船舶海洋工学(流体)[船体復原性、船体抵抗・推進、船体運動]①～②／27.船舶海洋工学(構造)[船体強度・振動、船舶設計・積装]①～②

(注)11(材料力学[機械系])と16(構造力学(土木))の同時選択不可。

13(流体力学[機械系])と18(水理学)の同時選択不可。

19(土木計画)と20(環境工学(土木)・衛生工学)の同時選択不可。

(注2)1(建築設計)及び2(都市設計)は、「一般的な建築物及び都市・地区の設計を課題とし、マスタープラン(図面及び論述)の作成により、設計する能力及び企画する能力を問う問題」。他の選択科目は、「科目内容に応じて必要な専門的知識、技術などの能力を論述、計算等を通じて問う問題」。

政策論文試験【配点未定】

2時間／1題

政策の企画立案に必要な能力、その他総合的な判断力及び思考力についての筆記試験

人物試験(人事院面接)【配点未定】

15～20分程度

面接官3名VS受験生1名の形式で実施。人柄や対人能力の評価

7. 春試験／試験制度

大卒程度試験（デジタル）

1 次 試 験

基礎能力試験（択一式）【配点比率未定】

※○は出題予定数

2時間20分／30題解答

<必須解答>

知能分野(文章理解⑩、数的処理④)②

知識分野(自然科学・人文科学・社会科学に関する時事、情報)⑥

※知識分野は、単に知識を問うような出題を避けて時事問題を中心とし、普段から社会情勢等に関心を持っていれば対応できるような内容

専門試験（択一式）【配点比率未定】

3時間30分／155題／40問題解答

必須問題

基礎数字⑩、情報基礎⑦、情報と社会③の計20題

選択必須問題

次の17題から10題以上を選択解答

計算機科学③、情報工学(ハードウェア)⑤、情報工学(ソフトウェア)⑤、情報技術④

選択問題

選択必須問題と選択問題の合計の解答数が20題となるよう、次の26題から選択解答

線形題数、解説、確率・統計⑧、
数字モデル、オペレーションズ・リサーチ、経営工学(経営数学・生産管理・品質管理)⑤、
制御工学②、電磁気学②、電気工学③、電子工学③、通信工学③

2 次 試 験

専門試験(記述式)【配点未定】

3時間30分／選択問題2題

次の科目から6題出題、任意の2題選択

計算機科学①、情報工学(ハードウェア)②、情報工学(ソフトウェア)②、情報技術①

(注)同じ科目から2題選択可

政策論文試験【配点未定】

2時間／1題

政策の企画立案に必要な能力、その他総合的な判断力及び思考力についての筆記試験

人物試験(人事院面接)【配点未定】

15～20分程度

面接官3名VS受験生1名の形式で実施。人柄や対人能力の評価

7. 春試験／試験制度

大卒程度試験（数理科学・物理・地球科学）

1 次 試 験	2 次 試 験
基礎能力試験（択一式）【配点比率未定】 ※○は出題予定数 2時間20分／30題解答 <必須解答> 知能分野(文章理解⑩、数的処理⑩)③ 知識分野(自然科学・人文科学・社会科学に関する時事、情報)⑥ ※知識分野は、単に知識を問うような出題を避けて時事問題を中心とし、普段から社会情勢等に関心を持っていれば対応できるような内容 専門試験（多肢選択式）【配点比率未定】 3時間30分／115題出題 40題解答 I 部 5 題 基礎数学・情報数学 II 部 10 題 次の選択A、B(各10題)から一つを選択 <選択A> 数理科学系 <選択B> 物理・地球科学系 線形代数／解析／確率・統計 基礎物理／地球科学 III 部 25 題 次の17科目90題のうち任意の計25題解答 集合・位相／代数／幾何／解析／確率・統計／情報理論／計算機数学／離散数学／数値計算／数学モデル／オペレーションズ・リサーチ／経営工学(経営数学・生産管理・品質管理)／物理数学／古典物理学／現代物理学(物性物理学を含む。)/地球物理学／地質学	専門試験（記述式）【配点比率未定】 3時間30分／選択問題 2題 次の科目から15題出題、任意の2題選択 代数／幾何／解析／確率・統計⑤／情報科学①／数学モデル①／経営工学(経営数学・生産管理・品質管理)①／古典物理学／現代物理学(物性物理学を含む。)/③／地球物理学②／地質学② (注)同じ科目から2題選択可 政策論文試験【配点比率未定】 2時間／1題 政策の企画立案に必要な能力、その他総合的な判断力および思考力についての筆記試験 人物試験（人事院面接）【配点比率未定】 15～20分程度 面接官3名VS受験生1名の形式で実施。人柄や対人能力の評価

最終合格

35

7. 春試験／試験制度

大卒程度試験（化学・生物・薬学）

1 次 試 験	2 次 試 験
基礎能力試験（択一式）【配点比率未定】 ※○は出題予定数 2時間20分／30題解答 <必須解答> 知能分野(文章理解⑩、数的処理⑩)③ 知識分野(自然科学・人文科学・社会科学に関する時事、情報)⑥ ※知識分野は、単に知識を問うような出題を避けて時事問題を中心とし、普段から社会情勢等に関心を持っていれば対応できるような内容 専門試験（多肢選択式）【配点比率未定】 3時間30分／106題出題 40題解答 必須問題 基礎数学／基礎物理／基礎化学／基礎生物学の計10題 選択問題 <次の16科目(各6題)から5科目又は6科目を選択し、その30～36題のうち任意の計30題解答> 1. 数学・物理／2. 基礎物理化学・基礎無機化学／3. 物理化学・無機化学／4. 有機化学／5. 工業化学・化学工学／6. 分析化学・薬化学／7. 薬理学／8. 薬剤学・衛生科学／9. 食品学／10. 土壤肥料学・環境科学・農薬／11. 生化学・分子生物学／12. 応用微生物学・生物工学／13. 発生生物学・生理学／14. 細胞生物学(形態学を含む。)/放射線生物学／15. 遺伝学・進化学／16. 生態学(動物行動学を含む。)/系統分類学	専門試験（記述式）【配点比率未定】 3時間30分／選択問題2題 <次の科目から19題出題、任意の2題選択> 物理化学②／無機化学①／有機化学①／分析化学①／化学工学①／薬化学①／薬理学①／薬剤学①／食品学①／土壤肥料学・農薬①／生化学①／分子生物学・生物工学①／応用微生物学①／発生生物学①／生理学①／細胞生物学(形態学を含む。)/①／遺伝学①／生態学(動物行動学を含む。)/① (注)同じ科目から2題選択可 政策論文試験【配点比率未定】 2時間／1題 政策の企画立案に必要な能力、その他総合的な判断力および思考力についての筆記試験 人物試験（人事院面接）【配点比率未定】 15～20分程度 面接官3名VS受験生1名の形式で実施。人柄や対人能力の評価

最終合格

36

7. 春試験／試験制度

大卒程度試験（農業科学・水産）

1 次 試 験	2 次 試 験
基礎能力試験(択一式) 【配点比率未定】 ※○は出題予定数 2時間20分／30題解答 <必須解答> 知識分野(文章理解⑩、数的処理⑩)※ 知識分野(自然科学・人文科学・社会科学に関する時事、情報)⑥ ※知識分野は、単に知識を問うような出題を避けて時事問題を中心とし、普段から社会情勢等に関心を持っていれば対応できるような内容 専門試験(多肢選択式) 【配点比率未定】 3時間30分／140題出題 40題解答 I部 5題 生物資源に関する基礎〔生物資源科学、食糧事情、統計学〕 II部 10題 次の選択A、B(各10題)から一つを選択 <選択A> 農業科学系 <選択B> 水産系 農業科学に関する基礎 水産学に関する基礎 〔農業・畜産業、生物学に関する基礎〕 III部 25題 <次の23科目(各5題)から5科目を選択し、計25題解答> 1.作物学／2.園芸学／3.育種遺伝学／4.植物病理学／5.昆虫学／6.土壌肥科学・植物生理学／7.経済学／8.農業資源経済学(基礎)／9.農業資源経済学(応用)／10.農業経営学／11.食料政策・農業政策・農業関係法律／12.家畜育種学／13.家畜繁殖学／14.家畜生理学／15.家畜飼養学・家畜栄養学・飼料学・家畜管理学／16.畜産一般〔畜産物生産・畜産物加工・畜産物流通〕／17.水産経済学・水産経営学／18.漁政／19.漁業学・水産資源学／20.宇井さん海洋学・水産環境保全／21.水産生物学・増養殖学／22.水産化学・水産利用学／23.水産一般〔水産物生産・水産物加工・水産物流通〕	専門試験(記述式) 【配点比率未定】 3時間30分／選択問題 2題 <次の20科目(各1題)から2科目選択> 1.作物学／2.園芸学／3.育種遺伝学／4.植物病理学／5.昆虫学／6.農業資源経済学／7.農業経営学／8.食料政策・農業政策／9.家畜育種学／10.家畜繁殖学／11.家畜生理学／12.家畜飼養学・家畜栄養学・飼料学・家畜管理学／13.漁業学／14.水産資源学／15.水産海洋学／16.水産環境保全／17.水産生物学／18.増養殖学／19.水産化学／20.水産利用学 政策論文試験 【配点比率未定】 2時間／1題 政策の企画立案に必要な能力、その他総合的な判断力および思考力についての筆記試験 人物試験(人事院面接) 【配点比率未定】 15～20分程度 面接官3名VS受験生1名の形式で実施。人柄や対人能力の評価

最終合格

37

7. 春試験／試験制度

大卒程度試験（農業農村工学）

1 次 試 験	2 次 試 験
基礎能力試験(択一式) 【配点比率未定】 ※○は出題予定数 2時間20分／30題解答 <必須解答> 知識分野(文章理解⑩、数的処理⑩)※ 知識分野(自然科学・人文科学・社会科学に関する時事、情報)⑥ ※知識分野は、単に知識を問うような出題を避けて時事問題を中心とし、普段から社会情勢等に関心を持っていれば対応できるような内容 専門試験(多肢選択式) 【配点比率未定】 3時間30分／76題出題 40題解答 必須問題 農業農村工学に関する基礎〔農業・農村一般③／農業生産・環境一般、数学・情報処理③／農業農村工学一般⑥／応用力学④／水理学④〕の計22題 選択問題 <次の9科目(各6題)から3科目を選択肢、計18題解答> 1.設計・施工／2.農業水利学／3.土地改良／4.農業計画学・公共経済学／5.農村環境整備／6.機械基礎工学〔機械力学及び機械要素・設計〕／7.生物生産機械工学／8.食料機械工学・生物生産施設工学／9.環境調節工学〔農業気象学及び生物工学を含む。〕	専門試験(記述式) 【配点比率未定】 3時間30分／選択問題2題 <次の9科目(各1題)から2科目選択> 1.設計・施工／2.農業水利学／3.土地改良／4.農村計画学／5.農村環境整備／6.公共経済学／7.生物生産機械工学／8.食料機械工学・生物生産施設工学／9.環境調節工学〔農業気象学及び生物工学を含む。〕 政策論文試験 【配点比率未定】 2時間／1題 政策の企画立案に必要な能力、その他総合的な判断力および思考力についての筆記試験 人物試験(人事院面接) 【配点比率未定】 15～20分程度 面接官3名VS受験生1名の形式で実施。人柄や対人能力の評価

最終合格

38

7. 春試験／試験制度

大卒程度試験（森林・自然環境）

1 次 試 験	2 次 試 験
基礎能力試験（択一式） 【配点比率 未定 】 ※○は出題予定数 2時間20分／30題解答 <必須解答> 知能分野(文章理解①、数的処理②)③ 知識分野(自然科学・人文科学・社会科学に関する時事、情報)④ ※知識分野は、他に知識を問うような出題を避けて時事問題を中心とし、普段から社会情勢等に関心を持っていれば対応できるような内容 専門試験（多肢選択式） 【配点比率 未定 】 3時間30分／121題出題 40題解答 必須解答 森林・自然環境に関する基礎[森林・自然環境に関する基礎科学④／森林・自然環境の現状と基本政策⑤／森林・自然環境の機能・効果に関する基礎④]の計13題 選択問題 <次の12科目(各9題)から3科目を選択し、計27題解答> 1.森林環境科学(森林政策及び林業動向を含む。)／2.森林資源科学(森林立地及び森林保護を含む。)／3.森林生物生産科学、(森林経営・育林技術・森林工学)／4.砂防学基礎／5.砂防工学／6.流域管理／7.造園学原論・造園材料／8.造園計画(自然公園)[自然環境保全を含む。]／9.造園計画(都市公園)[都市計画を含む。]／10.木材特性・木質構造／11.木材加工・材料改良／12.木材成分利用(特用林産を含む。)	専門試験(記述式) 【配点比率 未定 】 3時間30分／選択問題2題 <次の4科目(各3題)から1科目選択し、任意の2題解答> 1.森林科学に関する基礎 2.国土保全に関する基礎 3.自然環境・公園緑地に関する基礎 4.木材等林産物に関する基礎 政策論文試験 【配点比率 未定 】 2時間／1題 政策の企画立案に必要な能力、その他総合的な判断力および思考力についての筆記試験 人物試験(人事面接) 【配点比率 未定 】 15～20分程度 面接官3名VS受験生1名の形式で実施。人柄や対人能力の評価

最終合格

39

7. 春試験／試験制度

院卒者試験（工学）

1 次 試 験

基礎能力試験（択一式）【配点比率**未定**】

※○は出題予定数

2時間20分／30題解答

<必須解答>

知能分野(文章理解①、数的処理②)③

知識分野(自然科学・人文科学・社会科学に関する時事、情報)④

※知識分野は、他に知識を問うような出題を避けて時事問題を中心とし、普段から社会情勢等に関心を持っていれば対応できるような内容

専門試験（択一式）【配点比率**未定**】

3時間30分／155題／40題解答

必須問題

工学に関する基礎[数学及び物理の基礎的な知識に基づく工学的な手法の応用能力を問うもの等]の計20題

選択問題

<次の27科目(各5題)から4科目、5科目又は6科目を選択し、その20～30題のうちから任意の計20題解答>

- 1.技術論[技術の歴史、技術と社会との関連等]／2.基礎化学／3.工学基礎実験／4.情報基礎、5.電磁気学／6.電気工学／7.材料力学[機械系]／8.流体力学[機械系]／9.構造力学[土木]／10.土質力学・水理学／11.環境工学[土木]・衛生工学／12.構造力学[建築]／13.建築構造・建築材料・建築施工／14.計測工学・制御工学／15.電子工学／16.通信工学／17.機械力学、18.熱力学・熱機関[機械系]／19.土木計画／20.建築計画・建築法規・建築設備／21.建築史・都市計画／22.材料工学[材料科学] [材料物理、材料化学]／23.材料工学[金属材料・無機材料]／24.原子力工学(原子核・放射線)／25.原子力工学(原子炉・核燃料サイクル)／26.船舶海洋工学(流体) [船体復原性、船体抵抗・推進、船体運動]／27.船舶海洋工学(構造) [船体強度・振動、船舶設計・艦装]

(注)8(流体力学[機械系])と10(土質力学・水理学)の同時選択不可。
7(材料力学[機械系])と9(構造力学[土木]・土木材料・土木施工)と12(構造力学[建築])の3科目のうち、2科目又は3科目の同時選択不可

2 次 試 験

専門試験(記述式)【配点比率**未定**】

3時間30分／選択問題1題又は2題

次の27題から出題

解答題数

ア.1(建築設計)又は2(都市設計)を選択する場合はその1科目(1題)のみを選択解答

イ.ア以外の場合は、2科目から各1題、計2題を選択解答

(注)2題以上出題される科目にあっては、そのうち1題のみ選択可。

- 1.建築設計①／2.都市計画①／3.計測工学①／4.制御工学②／5.電磁気学・電気回路①／6.電気機器①／7.電力工学①／8.電子工学①／9.通信工学①／10.情報工学①／11.材料力学[機械系]①／12.機械力学①／13.流体力学[機械系]①、14.熱力学・熱機関[機械系]①／15.航空工学①／16.構造力学[土木]①／17.土質力学①／18.水理学①／19.土木計画③／20.環境工学[土木]・衛生工学／21.材料工学[材料科学] [材料物理、材料化学]①～②／22.材料工学[金属材料]①～②／23.材料工学[無機材料]①／24.原子力工学(原子核・放射線)①／25.原子力工学(原子炉・核燃料サイクル)①～②／26.船舶海洋工学(流体) [船体復原性、船体抵抗・推進、船体運動]①～②／27.船舶海洋工学(構造) [船体強度・振動、船舶設計・艦装]①～②

(注)1)11(材料力学[機械系])と16(構造力学[土木])の同時選択不可。

13(流体力学[機械系])と18(水理学)の同時選択不可。

19(土木計画)と20(環境工学[土木]・衛生工学)の同時選択不可。

(注)2)1(建築設計)及び2(都市設計)は、「一般的な建築物及び都市・地区の設計を課題とし、マスタープラン(図面及び論述)の作成により、設計する能力及び企画する能力を問う問題」、他の選択科目は、「科目内容に応じた必要な専門的知識、技術などの能力を論述、計算等を通じて問う問題」。

政策課題討議試験【配点比率**未定**】

おおむね1時間30分／1題

6人1組のグループ	レジュメ作成 25分	個別発表 1人あたり2分	グループ討議 30分
-----------	---------------	-----------------	---------------

人物試験(人事面接)【配点比率**未定**】

15～20分程度

面接官3名VS受験生1名の形式で実施。人柄や対人能力の評価

最終合格

40

8. 春試験／基礎能力試験(全区分共通)

<参考> 2023年度 春試験(大卒区分) 基礎能力試験出題表

番号	科目	出題内容	番号	科目	出題内容
1	文章理解	現代文(内容合致)	21	数的推理	速さ
2	文章理解	現代文(内容合致)	22	判断推理	場合の数
3	文章理解	現代文(文章整序)	23	数的推理	整数の性質
4	文章理解	現代文(空欄補充)	24	数的推理	図形(三平方の定理)
5	文章理解	英文(内容合致)	25	数的推理	関数
6	文章理解	英文(内容合致)	26	資料解釈	実数表
7	文章理解	英文(内容合致)	27	資料解釈	グラフ(相関図)
8	文章理解	英文(内容合致)	28	時 事	我が国の2022年の法改正
9	文章理解	英文(内容合致)	29	時 事	近年の国際情勢
10	文章理解	英文(文章整序)	30	時 事	自然災害や防災
11	文章理解	英文(空欄補充)	31	物 理	エネルギー
12	判断推理	命題	32	化 学	酸化と還元
13	判断推理	集合(要素の個数)	33	生 物	生態系
14	判断推理	数量的順序関係	34	日 本 史	明治時代の我が国の政治・外交
15	判断推理	対応関係	35	世 界 史	16～18世紀のヨーロッパ
16	空間把握	平面パズル	36	思 想	古代ギリシアの思想
17	数的推理	N進法(記数法)	37	地 理	東アジア・東南アジア諸国
18	空間把握	折り紙	38	法 律	日本国憲法
19	空間把握	図形の個数	39	法 律	我が国の司法・裁判制度
20	数的推理	割合	40	社 会	我が国の労使関係・労働条件

41

8. 春試験／政策論文試験(全区分共通)

	テーマ	資料
2023年	行政官として国民との信頼関係を築きながら情報提供を求めるために必要なことは何か	調査中
2022年	人類が抱える食料問題	①クリーンミート 培養肉 ②国連食糧システムサミット(英文) ③食料供給の不確実性
2021年	男女共同参画	①女性に関するOECDの分析(英文) ②立法過程における女性問題 ③ダイバーシティの概念
2020年	デジタル社会	①EUのデータ保護の規則(英文) ②デジタル経済の特徴 ③個人情報保護の課題
2019年	組織の自律性とコンプライアンス	①法令遵守の自己目的化 ②研究倫理 ③責任投資原則(英文)
2018年	行政官に求められる専門性や役割	①科学的助言の役割(英文) ②AIに関する行政課題 ③専門知と常識知

42

8. 春試験／専門試験の対策

出題科目に応じて**大学院入試過去問**を入手する。

- ①大学院HPよりダウンロード
- ②大学院に直接請求 など
- ③国立、私立合わせて3大学分集めることが目安

43

9. 秋試験／教養区分

理系、文系ともに共通の試験。専門科目がなく政策立案能力が合否判定の中心になる。

1次試験

基礎能力試験(択一式)【配点5/28】
I部 2時間/24問
<必須解答>
知能分野(数的処理①、文章理解①)
II部 1時間30分/30題解答
<必須解答>
知識分野(自然科学、人文科学、社会科学、時事、情報③)
総合論文試験【配点比率8/28】
4時間/2題
幅広い教養や専門的な知識を土台とした総合的な判断力、思考力についての筆記試験
I 政策の企画立案の基礎となる教養・哲学的な考え方に関するもの
II 具体的な政策課題に関するもの

2次試験

企画提案試験【配点5/28】

I部	II部
企画力、建設的な思考力及び説明力などについての試験	
政策概要説明紙(プレゼンテーションシート)作成	プレゼンテーション及び質疑応答
1時間30分/1題	おおむね1時間
課題と資料をもとに、解決策を提案	政策概要説明紙(プレゼンテーションシート)の内容について試験官に説明、その後、質疑応答

政策課題討議試験【配点4/28】
おおむね1時間30分
課題に対するグループ討議によるプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力などについての試験

6人一組のグループ	レジュメ作成 20分	個別発表 3分	グループ討議 45分	討議を踏まえて考えたことを発表 1人2分程度
-----------	---------------	------------	---------------	---------------------------

人物試験(人事院面接)【配点6/28】
15～20分程度
面接官3名VS受験生1名の形式で実施される人柄や対人能力の評価試験

44

10. 官庁訪問

希望省庁で内々定を獲得するための最後の関門

- <開始>
最終合格発表日（2023年は6/8(木)）4日後の6/12(月)午前8:30から
- <期間>
第1・第2クール（6日間）⇒ 同一省庁への訪問は3日に1回（訪問日の翌日・翌々日は訪問不可）
第3クール（2日間）⇒ 同一省庁への訪問は2日に1回（翌日の訪問不可）
第4クール（1日間）

訪問例	月日	6/12(月)	6/13(火)	6/14(水)	6/15(木)	6/16(金)	6/19(月)	6/20(火)	6/21(水)	6/22(木)
		第1クール			第2クール			第3クール		第4クール
	A	外務	×	×	外務	×	×	外務	×	外務
	B	×	防衛	×	×	防衛	×	×	防衛	×

※6/22（木）17:00以降に内々定解禁 ⇨ 事実上の内々定はそれ以前に暗示されている

- <何をするか>
原課（具体的な政策を作るところ）、人事課を含め様々な人と面接（面談）をして、その省庁のカラーに合っているか判断される。この官庁訪問をクリアしないと就職できない。
➤官庁訪問の倍率は、2.5倍程度

11. コース・カリキュラム

2024年
合格目標

随時入会可

【対応試験】

春試験専門科目カット本科生

- 大卒（各試験区分）
- 院卒（各試験区分）

※専門科目を除く。
※「春試験専門科目カット本科生」は、教養区分専用のコースで対応します。

国総 技術職本科生

- 大卒（工学区分）
- 院卒（各試験区分）

※本コースは、専門科目（工学の基礎は除く）はご自身で学習いただいたごコースです。

春試験専門科目カット本科生

国総 技術職本科生

国家総合職相当の
教養科目特化型コース

専門科目対策を独学で対策される方を対象としたコースです。試験範囲が膨大な教養科目と政策論文を出題頻度の高いポイントに絞った学習ができ、さらに面接・官庁訪問対策もしっかり対策することで春に実施される試験に向けて効果的な対策が可能です。

※春試験専門科目カット本科生では「工学の基礎 過去問解説」はつきません。
※「春試験専門科目カット本科生」は、教養区分専用のコースではありません。

春試験専門科目カット本科生

国総 技術職本科生

スタートアップ講義

1 回

●スタートアップ講義

1 回

1 次試験（択一）対策

36 回

教養択一対策講義

●数的処理

13 回

●文章理解

2 回

●自然科学

4 回

●人文科学

8 回

●社会科学

4 回

●時事

5 回

5 回

教養択一対策演習

●数的処理

2 回

●数的処理過去問演習

2 回

●基礎能力演習

1 回

2 次試験（論文）対策

3 回

政策論文対策

●政策論文対策講義

3 回

4 回

政策論文対策

●政策論文対策答練

4 回

国総 技術職本科生
国家総合職の
『工学の基礎』が必要な
技術職(工学区分)
コース

国家総合職レベルの「工学の基礎」が出題される技術職(工学区分)を目指す方向けのコースです。教養(基礎能力)試験と工学の基礎対策はもちろん、論文試験や人物試験対策も含まれていますので、総合的な受験対策をすることができます。

※本コースは、専門科目(工学の基礎)は各自で学習してください。

国総『工学の基礎』を
ブラッシュアップ!
工学の基礎 過去問解説では過去の国家総合職工学の基礎本試験問題を解説いたします。

直前対策	公開模試 無料	4回	●基礎能力模試 1回 ●択一模試 2回* ●論文模試 1回* ※択一模試は教養択一のみ、論文模試は政策論文のみの実施です。
人物対策	面接・官庁訪問対策 講義編	2回	●人事院面接対策講義 1回+面接カード添削 ●官庁訪問対策講義 1回
人物対策	面接・官庁訪問対策 実践編	4回+a	●模擬面接* 1回+a ●模擬企画提案(教養区分)* 1回 ●模擬集団討論(官庁訪問用)* 1回+a ●模擬政策課題討論(教養区分・院卒)* 1回
国総 技術職本科生のみ	専門択一対策講義	10回	●工学の基礎 過去問解説* 10回

★教室+Web講座生はビデオブースまたはWeb講義でのご受講となります。 ※新宿校教室またはオンラインでのみ実施します。

受講料	受講料は教材費・消費税込10%が含まれます。	※資料費が別途必要です。	春試験専門科目カット本科生	全55回	国総 技術職本科生	全65回
受講メディア	コースNo.	通常受講料	大学生協等割引 受講料(5%off)	コースNo.	通常受講料	大学生協等割引 受講料(5%off)
教室+Web講座 / ビデオブース+Web講座	243-061	¥253,000	¥240,350	243-091	¥275,000	¥261,250
Web通信講座	243-161			243-191		

※0から始まる会員番号をお持ちでない方は、受講料の他に別途入会金(¥10,000+消費税10%込)が必要です。会員番号につきましては、TAC各校またはカスタマーセンター(0120-509-117)までお問い合わせください。

■無料体験入学

📍 教室／オンラインで体験！

8月 9月 10月

予約	実施校舎	実施日程	科目
不要	新宿校	9月生	9/6(水) 18:30～ スタートアップ講義 随時受講可 ビデオブースで体験受講
		10月生	10/3(火) 18:30～ スタートアップ講義 随時受講可 ビデオブースで体験受講
	早稲田校	9月生	9/4(月) 14:00～ スタートアップ講義 随時受講可 ビデオブースで体験受講
		10月生	10/5(木) 18:30～ スタートアップ講義 随時受講可 ビデオブースで体験受講
必要	オンライン	8月生	8/25(金) 18:30～ スタートアップ講義
		9月生	9/15(金) 18:30～ スタートアップ講義

★新宿校・早稲田校でのご体験はご予約は不要です。当日は開始時刻の10分前までに各校舎受付へお越しください。

★オンラインでのご体験はご予約が必要。TACホームページよりご予約ください。

ビデオブース講座で体験！

全国の校舎で映像を視聴できます

各校のビデオブースでお好きな講義を視聴できます。教室の体験講義に出席できない方にお奨めです。

※ビデオブース講座の体験入学については、TAC各校舎にお問い合わせください
 ※専門・教養統一講義の中からお好きな科目をご視聴いただけます（視聴できる科目は時期により異なります）。

要予約

ブース 利用 時間帯	時間帯	月～土	日
	9:30～12:30	○	○
	12:30～15:30	○	○
	15:30～18:30	○	○
	18:30～21:30	○	—



Web通信講座で体験！

パソコンで体験講義を視聴できます

TACホームページの「TAC動画チャンネル」で無料体験講義をご視聴いただけます。

TAC動画チャンネル 公務員



<https://www.tac-school.co.jp/tacchannel.html>



49

お得なキャンペーン実施中！

＼体験ができる・セミナーも盛りだくさん・相談会も開催中！／

今なら「選べるe-GIFT」
1,000円分プレゼント！
 ※詳細はホームページをご確認ください



**通信学習
 応援フェスタ**

2023年7/1(土) ▶ 9/30(土)

夏は自宅でもスキルアップ！

©2022 TAC Co.,LTD

50

TAC・Wセミナーのウリを3つ！

- ① 確かな実績を出しています
- ② 情報の蓄積がたくさんあります
- ③ 講師が内々定まで丁寧に指導します

① 確かな実績を出しています



② 情報の蓄積がたくさんあります

2022年度
内定先20省庁! 多数の省庁に内定!!

もっと内定者の体験記が見たい方はココにアクセス 

国家総合職試験、最後の難関は官庁訪問。**TAC・W**は持てるノウハウを余すところなく提供し、受験生の内定獲得をサポートします。「内定力」で選んでも、やっぱりTAC・Wセミナーです。

外務省	16名
経済産業省	7名
文部科学省	3名
法務省	1名
国税庁	3名

財務省	4名
防衛省	7名
農林水産省	4名
消費者庁	1名
海上保安庁	1名

警察庁	3名
厚生労働省	11名
金融庁	1名
出入国在留管理庁	3名
公正取引委員会	1名

総務省	12名
国土交通省	6名
環境省	2名
公安調査庁	1名
人事院	1名

53

③ 講師が内々定まで丁寧に指導します

個々の学力や状況に合わせた個別指導

担任講師制度

国家総合職担任
国際経済学・
財政学等 担当
みぞえ まさる
溝江 勝 講師



国家総合職担任
政治学・行政学・
政策論文等 担当
やまもと たけひで
山本 武秀 講師



受講生をサポートする身近な存在

内定者アドバイザー



54

TACからの ご案内

公務員講座のコースや受講に関するご相談は・・・

T A C・Wセミナー公務員講座

 **0120-555-962** (受付時間／土日祝を除く12:00～17:00)

各種資料のご請求・お問い合わせは・・・

T A Cカスタマーセンター

 **0120-509-117** (受付時間／月～金9:30～19:00／土日祝9:30～18:00)

※受付時間は新型コロナウイルス感染症の状況により、変更させていただく場合がございます。
詳細は、T A Cホームページにてご確認くださいませようお願い申し上げます。

55



Q & Aコーナー

お気軽にご質問ください。

56